

令和7年度 第1回 横浜市長浜野口記念公園の集会施設（横浜市長浜ホール）
指定管理者選定評価委員会 会議録

- 1 日 時 令和7年11月26日（水） 14時07分～16時22分
- 2 場 所 横浜市長浜ホール 会議室
- 3 出席者 高橋 義仁 委員長、西田 由紀子 委員、古本 悦子 委員、牟田 行秀 委員
- 4 欠席者 無し
- 5 傍聴者 無し

6 議事内容

議題	<ol style="list-style-type: none">1 定足数の確認2 委員会の公開・非公開について3 審議事項：「令和6年度業務評価」
議事・ 委員意見等	<ol style="list-style-type: none">1 定足数の確認 「横浜市長浜野口記念公園の集会施設（横浜市長浜ホール）指定管理者選定評価委員会運営要綱」第7条第3項に基づき、委員数4名のうち4名の出席により定足数を満たしており、会議の成立を確認した。2 委員会の公開・非公開について 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条及び横浜市長浜野口記念公園の集会施設（横浜市長浜ホール）指定管理者選定評価委員会運営要綱第9条に基づき、「令和6年度業務評価」の審議については公開とした。3 審議事項：「令和6年度業務評価」<ol style="list-style-type: none">(1) 指定管理者による業務報告及び自己評価 指定管理者から、令和6年度の実績及び自己評価についての説明があった。(2) 行政評価について 評価表に基づき、事務局から行政評価の要点について説明があった。(3) 委員による評価 委員から指定管理者に対する評価内容の説明及び質問を行った。 <p>《評価内容の説明》</p> <ol style="list-style-type: none">1 「使命1 文化芸術の活動と体験の場になる」について 《質疑》 委員 総来場者数が減少しているのは、工事休館が原因という理解でよいか。 指定管理者 そのとおり 委員 昨年・今年の異常な猛暑による利用者への影響はどのような状況だったのか。 指定管理者 例年は夏場にも一定の人通りがあったが、昨年・今年は猛暑の影響で昼間の来訪者がほとんど見られず、公園利用者も減少している。施設側では

クールシェアスポットとして掲示し、来館者の休憩やトイレ利用、体調不良者への応急対応などを行ったが、夏場全体としては利用者が極めて少ない状況だった。

委員 会議室の利用率が低いことを課題として認識しているようだが、周辺施設における類似スペースの供給状況（利用状況や空き状況など）は把握しているのか。

指定管理者 周辺施設の会議室利用状況は調査していない。教室の誘致など会議用途以外の活用に可能性を広げて、今後はスペースの特性を生かした新たな使い方を検討していきたい。

委員 利用者向けのWi-Fiは整備されているか。

指定管理者 現在、整備されていない。

委員 本来の会議室としての提供を考えると、オンライン会議などの利用が増えている現状では、通信環境の整備も必要になると思うので、検討いただきたい。

【評価する点】

- ・ビジョンとミッションを明確に掲げ、具体策にも積極的に取り組んでおり、市民に近い視点で「使ってみたい・行ってみたい施設」を目指し、利用者からの評価も数字として表れている。
- ・ホールや音楽練習室の貸館利用率が高く、施設利用拡大の取組が着実に成果を上げている。
- ・アンケートや懇談会を通じて利用者の声を丁寧に収集し、運営に反映する仕組みがうまく機能している。
- ・複数企業による協業体制のもと、円滑な施設運営が行われている。

【更なる取組を期待する点】

- ・高齢化による固定化層への対応や、幅広い世代の来館者確保は今後の重要課題であり、さらなる工夫と取組に期待する。
- ・会議室と多目的ルームの利用率が低いため、新たな利用方法の提案を期待する。

2 「使命2 歴史的建造物を活用し魅力を発信するとともに、文化芸術を媒介とし地域の力を結びつける」について

《質疑》

委員 体験教室の質がスタッフの高齢化で低下しているとの記載があったが、具体的にどのような点を指しているのか。

指定管理者 6年度は、機器操作を担うスタッフの不在によりプロジェクターが使用できず、紙資料対応となり内容が簡素化した。7年度には対応可能な人員が復帰し、改善が進んでいる。

【評価する点】

- ・「野口英世フェア」では、博士への手紙コンテストなど工夫を凝らした内容が展開されており、長浜検疫所の歴史や野口英世博士について学べる貴重な機会

が提供されている。

- ・「野口英世フェア」については、300人以上の参加を集め、アンケートでも高い満足度を得ている。特に体験教室では満足度が92%と非常に高く、大人から子どもまで幅広い世代が楽しめる事業が実施できている。
- ・野口英世博士の業績を紹介する施設は国内でも限られており、長浜ホールがその役割を担っている意義は非常に大きく、フェアや顕彰活動に積極的に取り組まれている点は高く評価できる。
- ・横浜の野口顕彰会や賛同団体との連携など、地域の施設・団体との協働が着実に広がっており、賛同団体数が増加傾向にあることから、その努力が伺える。

【更なる取組を期待する点】

- ・野口英世博士は国内外において重要な人物であることから、その価値や意義を地域にとどめず、より広い範囲へ発信していくことが重要である。横浜や金沢区に限定せず、全国・世界へ視野を広げた展開により、博士の魅力をさらに広く伝えていくことを期待する。
- ・野口英世博士ゆかりの施設として、「偶然訪れて初めて施設の存在を知った」といった声も多いことから、施設の認知向上に向けた広報や発信を一層の強化を期待する。
- ・歴史的建築物としての価値だけでなく、野口英世博士の業績と併せて鑑賞される側面も大きいため、その魅力をより積極的に発信していくことを期待する。
- ・演者の負担や顕彰会スタッフの高齢化といった体制面の課題は早急な対応必要である。文化芸術の担い手や理解者を広げていくためにも、今後はより具体的かつ実効性のある取組が必要である。

3 「使命3 多様な市民の活動を支援するとともに、次世代を担う文化創造の担い手を育む」について

【評価する点】

- ・次世代の文化創造を担う人材育成の取組として、ゴスペルワークショップやキッズダンススクールなど、幅広い世代が参加できる事業が展開できている。
- ・参加者満足度が非常に高く、特にゴスペルワークショップでは満足度100%という顕著な成果を上げており、地元アーティスト支援にも積極的に取り組んでいる。
- ・定量指標において各年の数値に努力が反映されており、地域に根差した活動が着実に継続されている。
- ・長浜ホールが地域の文化拠点として一定の支持を得ていることも確認でき、スタッフが限られた体制の中でも丁寧に運営を行っている。

【更なる取組を期待する点】

- ・鑑賞者や訪問者一人ひとりに丁寧に向き合う姿勢が、説明や各種データからも明確に伝わってくる。こうした利用者寄りな姿勢を今後も継続していただきたい。
- ・各年の実績値には確かな努力が表れている一方、その安定には高齢の固定利用者の影響が大きいと考えられる。今後は、こうした内実を丁寧に観察・分析した上で、長浜ホールの存在感をさらに高めていただきたい。

4 「使命4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う」について

《質疑》

委員 3社による共同体運営になっているが、課題の共有や連携はどのように行われているのか。

指定管理者 3か月に一度JV会議を開催し、進捗報告や課題、協力会社からの質問事項等を共有している。議論した内容のうち、即時対応可能なものは速やかに実施し、時間を要するものについては次年度に持ち越す場合もあるが、いずれも会議での議論を踏まえて着実に反映している。

委員 利用者の視点に立った取組として、アンケート回収率が70%と非常に高くなっているが、どのように実施しているのか。

指定管理者 アンケートは入場時に手渡しで配布し、退出時の動線がほぼ1か所に集約されることから、その地点で職員が声をかけて回収している。また、来場者の多くがリピーターであることもあり、結果的に高い回収率につながっていると分析している。

委員 撮影ロケ地や企業イベントとしての利用ニーズはあるのに実績がない理由は何か。

指定管理者 問い合わせの多くが「数日後に使用したい」など直前であり、既存予約との調整が難しい。また、全館を複数日押さえないという要望が重なり、すでに貸室が埋まっているケースが多い。ドラマ制作などでは直近でロケ地を探す傾向があるため、日程が合わない状況が続いている。

委員 過去にロケ地として利用された事例はあるか。

指定管理者 約3年前に放送された番組「しずかちゃんとパパ」で本施設がロケ地として使用された実績がある。条件が合えば受入れは可能。

委員 横浜市としてロケ地情報の周知は行われているのか。

指定管理者 横浜市のフィルムコミッションのロケ地情報に掲載されている。

委員 撮影受入のための運用改善の可能性はあるのか。

指定管理者 開館中は利用者への影響が大きく、廊下など部分的な場所貸しにも制約がある。また休館日は清掃やメンテナンスが入っているため、撮影用の休館日設定にも課題がある。事例を参考にしつつ、前向きに検討したい。

委員 撮影受入を進めることでどのような効果が期待できるか。

指定管理者 認知度の向上や収益機会の拡大につながる可能性がある。条件整理や周知方法の改善により、今後の受入れ機会を広げていきたい。

【評価する点】

- ・施設事故ゼロを維持するとともに、法定点検の確実な実施、修繕予算の適正な執行など、安全管理体制が安定して機能している。
- ・職員による日常点検や月次点検が着実に行われ、細かな修繕への対応など、経費節減を意識した運営姿勢となっている。
- ・歴史的建造物としての保全に向け、関係者との調整を進めている取組についても適切である。

【更なる取組を期待する点】

- ・会議室の利用が伸びない状況については、周知の強化や利用方法の工夫に加え、安定的な収入確保の観点から、長期的な事務所貸与など別用途での活用を検討する余地がある。今後、稼働率の改善策とあわせ、持続可能な運営に資するスペース活用の在り方について柔軟に検討されることを期待する。
- ・光熱費の高騰など外部要因の影響も大きい中で、利用者の視点を踏まえつつ持続可能性を確保し、バランスの取れた収支構造を維持していくことが重要である。引き続き、管理運営費の推移や要因の分析を行い、具体的な改善策の検討と実施を期待する。
- ・アクセス面や隣接緑地の活用には改善の余地があり、広場を活かしたイベント実施など、市民が集い発信できる環境づくりを進めていただきたい。
- ・自然公園との連携を生かし、来館しやすい雰囲気づくりや情報発信を強化することで、施設の存在感向上につなげていただきたい。

6 「総括」について

【評価する点】

- ・使命に沿って、貸館運営・歴史資源の活用・次世代育成・安全で持続可能な施設運営のいずれの面においても、計画どおり、あるいはそれ以上の成果が示されており、指定管理者として安定した運営がなされている。
- ・「文化芸術の力でソリューションと健康と幸福を生み出すホール」という明確で魅力的なビジョンを掲げ、その実現に向けて積極的な取組がなされている。
- ・スタッフが日常の見回りや細かな業務を丁寧に行い、その積み重ねが利用者からの高い信頼につながっている。
- ・大変良好な施設の維持管理と運営が実現できている。
- ・市民の活動拠点として着実に定着しつつあり、不利な立地条件にもかかわらず大変健闘している。

【更なる取組を期待する点】

- ・「地域の交流・活性化と文化芸術の新たな担い手を創出する」というミッションの達成に向けて、新規利用者の獲得に一層取り組まれることを期待する。また、これを支えるスタッフの育成も重要であり、今後、これらを実現するための施策が着実に推進されることを期待する。
- ・コンテンツの固定化や陳腐化による利用者・協力者の減少が懸念されることから、早急に新たな魅力向上策を打ち出す必要がある。
- ・既存の利用者だけでなく、市民が定期的に集い関わることのできる仕掛けづくりを積極的に進め、施設の活力向上につなげていただきたい。
- ・自主事業にはプロだけではなくセミプロを登用し、活動の機会の提供に繋げていただきたい。

まとめ	本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて清書し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。また、議事録については委員長確認後に確定のうえ、公表する。
-----	--